

令和2年8月教育委員会議

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について

資 料 2

(答 申)

令和2年8月 19 日

広島市教育委員会様

広島市教科用図書採択審議会

会長 長谷川 洋



令和3年度使用広島市立義務教育諸学校用教科用図書採択について（答申）

広島市教育委員会から、令和2年5月29日付け、広市教学指二第19号で諮問されたこのことについて、審議した結果を別紙のとおり答申します。

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔国語〕 種目〔国語〕

1 教科 [国語] 種目 [国語]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書(教科 [国語] 種目 [国語])」(以下、「報告書」という。)並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者(4者)の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

(1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について

- 全ての小・中学校で朝読書の取組、学校図書館の環境整備を実施していることなど、読書活動の推進に力を入れていること
- 複数の文章や資料から目的に応じて必要な情報を取り出すことや、相手意識を持って、分かりやすく相手に伝えることに課題が見られること
- 多様な表現に言い換えるなど、語彙の定着にも課題が見られること

(2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について

- 観点1「基礎・基本の定着」、視点①「読書や情報の扱い方等に関する内容の取り扱い方」
- 観点1「基礎・基本の定着」、視点③「漢字や語句の取り扱い方」
- 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
- 観点5「言語活動の充実」、視点⑩「社会生活に必要とされる言語活動の種類と工夫」

2 各発行者の特徴(抜粋)

(1) 観点1「基礎・基本の定着」、視点①「読書や情報の扱い方等に関する内容の取り扱い方」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに、「読書案内」として、教材と関連する本を1冊紹介している。また、「読書への招待」の後に、教材と関連する本を12冊紹介している。 ○ 読書活動として、以下の活動を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年：「図書館での調べ物」、「ポップ作り」 第2学年：「ビブリオバトル」、「一枚レポートにまとめる」 第3学年：「読書会」「将来の目標や計画を立てる」 ○ 各学年、3人ずつ、異なる職業の人による「私のおすすめの本」を掲載している。 ○ 読書に関する作品については、各学年、本編の「読書への招待」に、作品を3つ掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> また、巻末の「資料編」に、作品を2つ掲載している。 ○ 「情報の扱い方」については、各学年、巻頭に既習事項を掲載するとともに、「領域別教材一覧」に、教材との関連を示している。 ○ 「情報」に関する教材については、各学年、「言葉とメディア」を配置し、教材の後の「てびき」に、学習課題を示している。 ○ 各学年、巻末の「資料編」に、「情報の整理」の参考となる資料として、以下の内容を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年：「著作権と引用」 第2学年：「著作権について考える」 第3学年：「情報の信頼性を確かめる」
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>三 省 堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに、「私の本棚」として、教材と関連する本を3冊紹介している。また、「読書の広場」に、「小さな図書館」として、6のテーマで、47冊の本を紹介している。 ○ 読書活動として、以下の活動を掲載している。 第1学年：「ブッククラブ」 第2学年：「ビブリオバトル」 第3学年：「ブックトーク」 ○ 各学年、1人ずつ、作家の「私の読書体験」を掲載している。 ○ 読書に関する作品については、各学年、巻末の「読書の広場」に、作品を4つ掲載している。 ○ 「情報の扱い方」については、各学年、巻頭の「領域別教材一覧」に、教材との関連を示している。 ○ 「情報」に関する教材については、各学年、「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」を配置し、教材の前に、学習課題を示している。 ○ 各学年、巻末の「資料編」に、「情報の整理」の参考となる資料として、以下の内容を掲載している。 全学年共通：「情報を活用する」、「情報探しの方法」、「引用と著作権」
<p>教 育 出 版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとに、「広がる本の世界」として、教材と関連する本を10冊紹介している。 ○ 読書活動として、以下の活動を掲載している。 第1学年：「本の帯やポップ作り」 第2学年：「レポート作成」 第3学年：「ビブリオバトル」、「読書記録」 ○ 読書に関する作品については、各学年、本編の「読書への招待」に、作品を2つ掲載している。 また、巻末の「言葉の自習室」に、作品を4つ掲載している。 ○ 「情報の扱い方」については、各学年、巻頭の「領域別教材一覧」に、教材との関連を示している。 ○ 「情報」に関する教材については、各学年、「メディアと表現」を配置し、教材の文章や資料に、学習課題を示している。 ○ 各学年、本編の「メディアと表現」で、「情報の整理」の参考となる内容を扱っている。 第1学年：「メディアの編集について」、「広告の情報について」 第2学年：「SNSとの付き合い方について」 第3学年：「メディア・リテラシーについて」、「ニュースでの情報編集について」

光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに、「広がる読書」として、関連する本を2冊紹介している。また、各学年、テーマ別に50冊の本を紹介している。 ○ 読書活動として、以下の活動を掲載している。 第1学年：「ポップ作り」、「感想の共有」、「読書記録」 第2学年：「本の紹介合戦」「読書ポスター」、「読みたい本リスト」 第3学年：「ブックトーク」、「読書会」、「読書生活のデザイン」 ○ 各学年、1人ずつ、異なる職業の人による「読書コラム」を掲載している。 ○ 読書に関する作品については、各学年、本編の「読書」に、作品を3～5つ掲載している。 また、巻末の「学習を広げる」に、作品を2～4つ掲載している。 ○ 「情報の扱い方」については、各学年、巻頭の「領域別教材一覧」に、教材との関連を示している。 ○ 「情報」に関する教材については、各学年、「情報整理のレッスン」、「思考のレッスン」、「情報社会を生きる」を配置し、教材の文章や資料に、学習課題を示している。また、巻末に、「情報整理のレッスン」、「思考のレッスン」の一覧を掲載している。 ○ 各学年、本編の「情報社会を生きる」に、「情報の整理」の参考となる資料として、以下の内容を掲載している。 第1学年：「情報を集めよう」、「情報を読み取ろう」、「情報を引用しよう」、「著作権について知ろう」 第2学年：「メディアを比べよう」、「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」 第3学年：「実用的な文章を読もう」、「報道文を比較して読もう」
----------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 観点1「基礎・基本の定着」、視点③「漢字や語句の取り扱い方」

東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行数を「・」と五行ごとに数字で示している。 ○ 新出漢字は、脚注に抜き出し行数、音訓を示している。 ○ 意味や用法、類義語・対義語など、注意する語句は、脚注に抜き出し、行数、意味調べ等の学習を促す記号で分類して示している。 ○ 巻末の「新出漢字一覧」に、本文に掲載された順に、初出ページ、音訓、部首、画数、筆順、音訓の用例を示している。 ○ 教科書で学習する用語については、巻末の「学習用語一覧」に、言葉と該当するページを示している。 ○ 語彙の充実については、教材の後の「てびき」に、「広がる言葉」を設け、教材に出てくる言葉を扱っている。また、巻末の「言葉を広げよう」に、「広がる言葉」で扱った言葉に関連した言葉を掲載している。
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>三省堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行数を五行ごとに数字で示している。 ○ 新出漢字は、脚注に抜き出し行数、本文中の読みを示している。また、教材の終わりに、音訓と用例を示している。 ○ 意味や用法など、注意する語句は、脚注に抜き出し、行数、意味調べ等の学習を促す記号で分類して示している。また、本文に掲載されている熟語の対義語や類義語は、脚注で言葉を示している。 ○ 巻末の「〇年生で学ぶ漢字字典」に、本文に掲載された順に、初出ページ、音訓、部首、画数、筆順、音訓の用例を示している。 ○ 教科書で学習する用語については、巻末の「学習用語辞典」に、言葉と意味、該当するページを示している。 ○ 語彙の充実については、教材の後の「学びの道しるべ」に、「語彙を豊かに」を設け、教材に出てくる言葉を扱っている。また、巻末の「資料編」に、「語彙の広がり」を設け、テーマ別にさまざまな言葉を掲載している。
<p>教育出版社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行数を「・」と五行ごとに数字で示している。 ○ 新出漢字は、脚注に抜き出し、漢字のみを示している。また、教材の終わりに、音訓と用例を示している。 ○ 意味や用法、類義語・対義語など、注意する語句は、脚注に抜き出し、意味調べ等の学習を促す記号で分類して示している。 ○ 巻末の「〇年生で学習した漢字」に、本文に掲載された順に、初出ページ、音訓、部首、画数、筆順、音訓の用例を示している。 ○ 教科書で学習する用語については、巻末「学習に必要な用語（索引）」に、言葉と該当する学年及びページを示している。 ○ 語彙の充実については、巻末の「折込」に、「理解に役立つ言葉」、「表現に役立つ言葉」を設け、さまざまな言葉を掲載している。
<p>光村図書出版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行数を五行ごとに数字で示している。 ○ 新出漢字は、脚注に抜き出し、行数、本文中の読みとともにすべての音訓を示している。また、教材の終わりに、音訓と用例を示している。 ○ 意味や用法、類義語・対義語など、注意する語句は、脚注に抜き出し、意味調べ等の学習を促す記号で分類して示している。さらに、「漢字に親しもう」で、指定した言葉を使用して文章をつくる課題を設定している。 ○ 巻末の「〇年生で学習した漢字」に、本文に掲載された順に、初出ページ、音訓、部首、画数、筆順、音訓の用例、慣用句・ことわざなどを示している。 ○ 教科書で学習する用語については、巻末「〔索引〕学習のための用語一覧」に、言葉と該当するページを示している。 ○ 語彙の充実については、巻末の「資料編」に、「語彙を豊かに」を設け、さまざまな言葉を掲載している。 ○ 裏見返しに、2ページにわたり、「言葉を味わう」として、時、色、季節を表す言葉を示している。

(3) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の扉に、第1学年は詩、第2学年は短歌、第3学年は俳句を掲載するとともに、それぞれの背景には、作品と関係した写真を掲載し、興味・関心を持たせている。 ○ 巻頭の「学習の進め方・教科書の使い方」に、教材の構成や記号の意味、学習の進め方等を示し、学習に見通しを持たせている。 ○ 教材の後の「てびき」に、目標、目標に沿った複数の学習活動、教材を読む視点である「言葉の力」、「振り返り」を設け、学習の過程を示している。また、「振り返り」では、教材の中で学んだことを自分の言葉でまとめ、次の学習につなげることができるよう工夫されている。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の扉に、単元や季節と関係したイラストを掲載し、興味・関心を持たせている。 ○ 巻頭の「確かな言葉の力をつけるために」に、教材の構成や記号の意味、学習の進め方等を示し、学習に見通しを持たせている。 ○ 教材の後の「学びの道しるべ」に、目標、目標に沿った複数の学習活動、「学びを振り返る」を設け、学習の過程を示している。また、「学びを振り返る」では、「振り返りのキーワード」を示し、次の学習につなげることができるよう工夫されている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の扉に、単元と関連する作品の言葉を大きな字で掲載している。また、「四季のたより」を設け、季節に関連した短歌や俳句を掲載し、興味・関心を持たせている。 ○ 巻頭の「言葉の地図」に、教材の構成や記号の意味、学習の進め方等を示し、学習に見通しを持たせている。 ○ 教材名のそばに目標、教材の後の「みちしるべ」に、目標に沿った複数の学習活動、「振り返り」を設け、学習の過程を示している。また、「振り返り」は、目標と対になっており、学習を振り返って次につなげることができるよう工夫されている。
光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の扉に、単元や季節と関係した写真を掲載するとともに、ページの下に、「時を表す言葉」として、写真と関連する言葉を掲載している。また、「季節のしおり」を設け、季節に関連した詩歌や言葉を掲載し、興味・関心を持たせている。 ○ 巻頭の「この教科書で学習するみなさんへ」に、教材の構成や記号の意味、学習の進め方等を示し、学習に見通しを持たせている。 ○ 教材名のそばに目標、教材の後の「学習」に、目標に沿った複数の学習活動、「振り返る」を設け、学習の過程を示している。また、「振り返る」では、学習した教材や、過去に学習した教材を取り上げ、自分の言葉でまとめ、学習を振り返って次につなげることができるよう工夫されている。 ○ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の学習において、表現する際の参考として、「達人からのひと言」を設け、さまざまな業種の人コメントを掲載している。

(4) 観点5「言語活動の充実」、視点⑩「社会生活に必要とされる言語活動の種類と工夫」

東京書籍	<p>○ 教材名に、以下の言語活動例を示している。</p> <p>第1学年：「食文化」のレポート、「写真」の意見文、「似ている言葉」スピーチ、グループディスカッション等</p> <p>第2学年：「地域の魅力」の紹介文、「地図」の意見文、プレゼンテーション、リンクマップによる話し合い等</p> <p>第3学年：「環境」の新聞、「ポスター」の批評文、条件スピーチ、合意形成を目指す話し合い、時を超える手紙等</p> <p>○ 巻末の「資料編」で、以下の内容を掲載している。</p> <p>全学年共通：「話すこと・書くこと」題材例、手紙の書き方・原稿用紙の使い方・推敲の観点</p> <p>第1学年：発想・整理の方法（カードによるグルーピング、ウェビング、新聞の作り方）</p> <p>第2学年：発想・整理の方法（樹形図、座標軸法）、取材の仕方（インタビューの仕方、アンケートのとり方）</p> <p>第3学年：話し合いの方法（ディベート、パネルディスカッション）</p>
三省堂	<p>○ 教材名に、以下の言語活動例を示している。</p> <p>第1学年：グループディスカッション、レポート、随筆、スピーチ、行事案内リーフレット意見文等</p> <p>第2学年：グループディスカッション、手紙・メール、短歌・俳句、プレゼンテーション、投稿文等</p> <p>第3学年：グループディスカッション、課題作文、批評文、パブリック・スピーキング、ポスター等</p> <p>○ 巻末の「資料編」、「社会生活に生かす」で、以下の内容を掲載している。</p> <p>全学年共通：メモを活用する（忘れないためのメモ、何かを生み出すためのメモ）・話し合いの形式を選ぶ（グループディスカッション、ディベート、パネルディスカッション、ワールドカフェ）・辞典を活用する・手紙・はがき・メールの書き方・原稿用紙の使い方・推敲の仕方</p>
教育出版	<p>○ 巻頭「言葉の地図」に、以下の言語活動例を示している。</p> <p>第1学年：紹介、説明、質問、話し合い、報告、意見文、案内文、随筆、報告文、意見文等</p> <p>第2学年：説明、提案、質問、討論、投書、意見文、記事、物語、短歌等</p> <p>第3学年：説明、スピーチ、討論、説明文、批評文、PR文、作品集、俳句等</p> <p>○ 巻末の「言葉の自習室」で、以下の内容を掲載している。</p> <p>第1学年：マッピングについて、原稿用紙の使い方</p> <p>第2学年：レポートの書き方</p> <p>第3学年：模擬面接</p>

光 村 図 書 出 版	<p>○ 教材名に、以下の言語活動例を示している。</p> <p>第1学年：わかりやすく説明する、好きなことをスピーチで紹介する、質問で話を引き出す、案内文を書く、資料を引用してレポートを書く、話し合いの展開を捉える、グループディスカッションをする等</p> <p>第2学年：職業ガイドを作る、資料を示してプレゼンテーションをする、質問で思いや考えを引き出す、意見文を書く、討論で多角的に検討する、鑑賞文を書く、「ある日の自分」の物語を書く等</p> <p>第3学年：スピーチで社会に思いを届ける、質問で相手の思いに迫る、説得力のある批評文を書く、課題解決のために会議を開く、グラフを基に小論文を書く等</p> <p>○ 巻末の「資料」で、以下の内容を掲載している。</p> <p>第1学年：アンケート・原稿用紙の使い方・手紙の書き方</p> <p>第2学年：インタビュー・通信文</p> <p>第3学年：話し合いの方法</p>
----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 意見

(1) 光村図書出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点①の工夫として、読書活動として、「ポップ作り」、「感想の共有」、「読書記録」など、各学年3つの活動を掲載している。
- 視点①の工夫として、各学年、「情報整理のレッスン」、「思考のレッスン」、「情報社会を生きる」を配置し、教材の文章や資料に、学習課題を示すとともに、巻末に、一覧を掲載している。また、「情報社会を生きる」に、「情報の整理」の参考となる資料を掲載している。
- 視点③の工夫として、「漢字に親しもう」で、指定した言葉を使用して文章をつくる課題を設定している。また、巻末の「資料編」に、「語彙を豊かに」を設け、さまざまな言葉に掲載している。
- 視点③の工夫として、裏見返しに、2ページにわたり、「言葉を味わう」として、時、色、季節を表す言葉に掲載している。
- 視点④の工夫として、教材の後の「学習」に「振り返る」を設け、学習した教材や、過去に学習した教材を取り上げ、自分の言葉でまとめ、学習を振り返って次につなげることができるようにしている。
- 視点④の工夫として、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の学習において、表現する際の参考として、「達人からのひと言」を設け、さまざまな業種の人のコメントを掲載している。
- 視点⑩の工夫として、教材名に、「好きなことをスピーチで紹介する」、「資料を引用してレポートを書く」などの言語活動例を示している。

以上のとおり、光村図書出版の教科書は、1(1)に記した、本市の「読書活動の推進に力を入れている」という実態や、生徒の「複数の文章や資料から目的に応じて必要な情報を取り出すことや、相手意識を持って、分かりやすく相手に伝えることに課題が見られる」、「多様な表現に言い換えるなど、語彙の定着に課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、国語科で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点①の工夫として、読書活動として、「図書館での調べ物」、「ポップ作り」など、各学年2つの活動を掲載している。
- 視点①の工夫として、巻末に、「情報の整理」の参考となる資料を掲載している。
- 視点③の工夫として、教材に出てくる言葉を「広がる言葉」で扱うとともに、巻末の「言葉を広げよう」に、関連するさまざまな言葉を掲載している。
- 視点④の工夫として、教材の後の「てびき」に「振り返り」を設け、教材で学んだことを自分の言葉でまとめ、次の学習につなげることができるようにしている。
- 視点⑩の工夫として、教材名に、「食文化」のレポートなどの言語活動例を示している。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、本市の「読書活動の推進に力を入れている」という実態や、生徒の「複数の文章や資料から目的に応じて必要な情報を取り出すことや、相手意識を持って、分かりやすく相手に伝えることに課題が見られる」、「多様な表現に言い換えるなど、語彙の定着に課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、国語科で使用する教科書としてふさわしいと考える。

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔国語〕種目〔書写〕

2 教科 [国語] 種目 [書写]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書(教科 [国語] 種目 [書写])」(以下、「報告書」という。)並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者(4者)の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

- (1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について
 - 文字表現の多様化により、場や目的に応じて表現の効果を考えながら、書写で学習した内容を日常生活に活かすことができていない生徒が多いという課題が見られること
- (2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について
 - 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
 - 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点④「単元・題材や資料等の配列・分量」
 - 観点4「内容の表現・表記」、視点⑥「他教科や日常生活との関連の示し方」
 - 観点5「言語活動の充実」、視点⑨「学習や日常生活に生きる言語活動の工夫」

2 各発行者の特徴(抜粋)

- (1) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「書写の学習の進め方」に、教科書の使い方や学習の進め方を示している。 ○ 運筆について、筆圧の違いを視覚的に示している。また、「とん・すう・びた・ぐっ・すっ」と擬音語を用いて説明している。 ○ 行書の導入部では、漫画を配置し、行書の特徴や利点について示している。 ○ コラム「文字のいずみ」を設け、「伝統的な用具・用材」、「手書き文字と活字」、「仕事の中の手書き文字」、「文字と絵」などを紹介し、身の回りにある文字について興味・関心を持たせている。 ○ 「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」「振り返って話そう」といった学習の流れに沿って、教材が構成されている。また、「振り返って話そう」では、学習したことを自分の言葉でまとめ、次の学習につなげることができるよう工夫している。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「この教科書で学ぶ皆さんへ」に、教科書の使い方や学習の進め方を示している。 ○ 運筆について、筆圧の違いを視覚的に示している。 ○ 行書の導入部では、行書と楷書を比較できる教材を配置し、行書の特徴や利点について示している。 ○ 「学びを広げる」を設け、手書き文字や活字の伝え方の変遷や文字にかかわる仕事について紹介し、身の回りにある文字について興味・関心を持たせている。 ○ 「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」といった学習の流れに沿って、教材が構成されている。また、「学習を振り返ろう」では、評価の観点を示し、学習したことを次の学習につなげることができるよう工夫している。

教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「学習の進め方」に、教科書の使い方や学習の進め方を示している。 ○ 運筆について、筆圧の違いを視覚的に示している。 ○ 行書の導入部では、写真と解説を多く掲載し、行書の特徴や利点について示している。 ○ 「コラム」を設け、「季節の行事と書写」、「日本建築と書」などを紹介し、身の回りにある文字について興味・関心を持たせている。 ○ 「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」といった学習の流れに沿って、教材が構成されている。また、「振り返ろう」では、評価の観点を示し、学習したことを次の学習につなげることができるよう工夫している。
光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「学習の進め方」に、教科書の使い方や学習の進め方を示している。 ○ 運筆について、筆圧の違いを視覚的に示している。また、「トン・スー・トン」と擬音語を用いて説明している。 ○ 行書の導入部では、「速さを比べてみよう」を設け、速さを変えて書くことで、行書の特徴や利点について示している。 ○ 「コラム」を設け、「文字の歴史を探る」、「UD 書体ってなんだろう」などを紹介し、身の回りにある文字について興味・関心を持たせている。 ○ 「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」といった学習の流れに沿って、教材が構成されている。また、「学習を振り返る」では、評価の観点を示し、学習したことを次の学習につなげることができるよう工夫している。 ○ 切り離し可能な「書写ブック」を設け、学習したことを生かして書いたり、学習した内容の確認をしたりすることができるようにしている。

(2) 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点④「単元・題材や資料等の配列・分量」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆教材を、3年間で21教材掲載している。各学年の内訳は、第1学年8教材、第2学年8教材、第3学年5教材である。 ○ 第1学年の毛筆教材は、「大志」、「夏山の緑うつりし小窓かな」、「日光」、「大空」、「美しい緑」、「早春」、「夢の実現」、「温故知新」である。 ○ 広島に関する教材として、「熊野筆・川尻筆」、「平和の門」を扱っている。 ○ サイズ B5判より2.7cm横長 重さ 約325g
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆教材を、3年間で19教材掲載している。各学年の内訳は、第1学年8教材、第2学年8教材、第3学年3教材である。 ○ 第1学年の毛筆教材は、「天地」、「いろは歌」、「暑き日を海に入れたり最上川」、「名月」、「元気」、「探究」、「日進月歩」、「輝く生命」である。 ○ 広島に関する教材として、「四十七都道府県名」を扱っている。 ○ サイズ B5判 重さ 約260g

教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆教材を、3年間で24教材掲載している。各学年の内訳は、第1学年8教材、第2学年8教材、第3学年8教材である。 ○ 第1学年の毛筆教材は、「天地」、「いろは歌」、「大」、「大木」、「栄光」、「平和」、「新たな決意」、「世界遺産」である。 ○ 広島に関する教材として、「熊野筆」、「広島城の碑」、「都道府県名一覧」を扱っている。 ○ サイズ B5判より2.7cm横長 重さ 約305g
光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆教材を、3年間で30教材掲載している。各学年の内訳は、第1学年14教材、第2学年11教材、第3学年5教材である。 ○ 第1学年の毛筆教材は、「天地」、「春風」、「いろは歌(仮名)」、「夏の夜やちぎれちぎれの天の川」、「一」、「二」、「口」、「大」、「大木」、「北西」、「月光」、「不言実行」、「文武両道」、「将来の夢」である。 ○ 広島に関する教材として、「伊都岐島(厳島)神社」、「はがきの表書き」、「都道府県行書一覧」、「志望理由書」を扱っている。 ○ サイズ B5判 重さ 約295g

(3) 観点4「内容の表現・表記」、視点⑥「他教科や日常生活との関連の示し方」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科と関連がある教材には、教科関連マークを付し、関連する教科名を示している。 ○ 日常生活との関連の示し方については、「生かそう」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 単元の終わりに、「生活に広げよう」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活との関連の示し方については、教材の後に「振り返ろう」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 各学年の終わりに、「やってみよう」を設け、1年間で学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活との関連の示し方については、教材の後に「まとめ書きと応用」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 各学年に、「学習を生かして書く」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。
光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語科と関連がある教材には、教材に「国語」と示している。 ○ 日常生活との関連の示し方については、教材の後に「生かそう」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 各学年に、「学校生活」、「日常生活」などを設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。

(4) 観点5「言語活動の充実」、視点⑨「学習や日常生活に生きる言語活動の工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活に広げよう」に、案内の手紙、年賀状、本のポップ、防災訓練におけるポスター、案内表示などの言語活動を示し、書写で学習したことを生かすよう工夫している。 ○ 巻頭に、「手紙を書く」、「ポスターを書く」、「メモをとる」など、書写で学んだことが役立つ場面を例示している。 ○ 巻末の「さまざまな書式」に、手紙・新聞・リーフレット・ポスター・フリップ・レポート・原稿用紙・入学願書・送り状・往復はがき・のし袋・簡潔な手紙・電子メールの書き方について、イラストや写真を示している。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」に、グループ新聞、情報誌、名言集などの言語活動を示し、書写で学習したことを生かすよう工夫している。 ○ 巻末の「日常の書式」に、便箋・封筒・はがき・往復はがき・送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方について、イラストや写真で示している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習を生かして書く」や「学校生活に生かして書く」に、本の帯やポップ作り、ポスターセッション、新聞などの言語活動を示し、書写で学習したことを生かすよう工夫している。 ○ 巻頭に、レポート、手紙、掲示物など、書写で学んだことが役立つ場面を例示している。 ○ 巻末の「書式の教室」に、手紙・一筆箋・封筒・年賀状・はがき・往復はがき・包み紙・エアメール・原稿用紙・小包伝票・願書・志願理由書の書き方について、イラストや写真で示している。
光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」、「国語」、「学校生活」、「日常生活」に、学級スローガン、個人目標、本の帯、立て看板、応援旗、ノート、メモ、一筆箋、壁新聞、テレビ番組のタイトルデザイン、冊子、年賀状の書き方などの言語活動を示し、書写で学習したことを生かすよう工夫している。 ○ 巻末の「日常に役立つ書式」に、手紙（縦書き）・手紙（横書き）・宛名・封筒・メール・はがき・往復はがき・願書・原稿用紙・送り状の書き方について、イラストや写真で示している。 ○ 第3学年では、学習の参考として、「私の好きな言葉」に、スポーツ選手や漫画家の直筆の書を掲載している。

3 意見

(1) 光村図書出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点③の工夫として、運筆について、筆圧の違いを視覚的に示すとともに、「トン・スー・トン」と擬音語を用いて説明している。
- 視点③の工夫として、切り離し可能な「書写ブック」を設け、学習したことを生かして書いたり、学習した内容の確認をしたりすることができるようにしている。

- 視点④の工夫として、広島に関する教材として、「伊都岐島（厳島）神社」、「はがきの表書き」、「都道府県行書一覧」、「志望理由書」を扱っている。
- 視点⑥の工夫として、各学年に、「学校生活」、「日常生活」などを設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしているとともに、国語科と関連がある教材には、教材に「国語」と示している。
- 視点⑨の工夫として、書写で学習したことを生かすよう、「やってみよう」、「国語」、「学校生活」、「日常生活」に、学級スローガン、個人目標、本の帯、壁新聞、テレビ番組のタイトルデザインなどの言語活動を示している。
- 視点⑩の工夫として、第3学年では、学習の参考として、「私の好きな言葉」に、スポーツ選手や漫画家の直筆の書を掲載している。

以上のとおり、光村図書出版の教科書は、1(1)に記した、生徒の「文字表現の多様化により、場や目的に応じて表現の効果を考えながら、書写で学習した内容を日常生活に活かすことができている生徒が多い」という課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、国語科 書写で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点③の工夫として、運筆について、筆圧の違いを視覚的に示すとともに、「とん・すう・びた・ぐっ・すっ」と擬音語を用いて説明している。
- 視点④の工夫として、広島に関する教材として、「熊野筆・川尻筆」、「平和の門」を扱っている。
- 視点⑥の工夫として、単元の終わりに、「生活を広げよう」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしているとともに、他教科と関連がある教材には、教科関連マークを付し、教科名を示している。
- 視点⑨の工夫として、書写で学習したことを生かすよう、「生活に広げよう」に、案内の手紙、年賀状、防災訓練におけるポスターなどの言語活動を示している。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、生徒の「文字表現の多様化により、場や目的に応じて表現の効果を考えながら、書写で学習した内容を日常生活に活かすことができている生徒が多い」という課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、国語科 書写で使用する教科書としてふさわしいと考える。